



皆様

明けましておめでとう
ございます

●関連記事：2～5ページ
善光氏から届いた年賀状です。
善光さん いつも 投稿
ありがとうございます。
(転載：本人の了解済み)

変集長

☆☆活動報告☆☆

11月26日

第1回観光列車研究会(福井商工会議所主催)

12月8日 地域デザイン研究会現地シンポジウム

13日 ROBA12月例会・理事会

1月10日 ROBA1月例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

1月22日(火) 第2回観光列車研究会

2月15日(金) えちぜん鉄道活性化連携協議会

26日(火) EST創発セミナーin姫路

～モビリティでよみがえる地方都市空間(仮)～

3月9日(土)～10日(日)

第9回人と環境にやさしい交通をめざす
全国大会(前橋市)

善光の一言 ⑫

武道家会員?の富山県在住、善光です。

冬にあちこちで行われている“寒稽古”。武道系を中心に、スポーツクラブや部活でも行うところがありますね。寒中に練習を行う事で、1年間の健康と技術の向上を願い、心身鍛錬を行います。特にきつい寒稽古を行う種目は、やはり空手でしょう。くそ寒い中、海、川、滝に入っただけの練習。私も毎年行っています。川、海はきついですが、海はちょっと違います。時に嫌がる子供達を連れ、時には雪の積もった浜辺を波打ち際に行きます。準備運動を終え、海に足を入れると・・・ あ、お湯だ!・・・と子供達。気温は数度でも、海水温は15度くらい。雪の上を走って来て海に浸かると、暖かく感じられます! ひざまで海に浸かって水しぶきを上げて突き蹴り型の練習。次第に空手着も濡れてゆき、やがてどうでもよくなって泳ぎ出す。気持ちいですよ!。テレビ中継されている海での空手寒稽古。思っているほどきつくはないです。そんな点、川や滝はきついのは、水温が低いからなんです。

そしてこの時期、公共交通での移動も寒稽古ですね。寒い中、乗り場まで歩き、ひたすら待つ。列車やバスが見えてくるとホッと、乗りこむとちょっと幸せな気分になります。皆さん、水に入れとは言いませんが、寒い日は電車・バスで熱燗でも飲みに行きましょう!

この時期はやっぱり“寒稽古”

さみしい！ 鉄道？・・・の廃止

日本でここだけだった地上を走る無軌条電車

バス愛好家会員？の善光です。2018年11月30日、富山・長野県境の鉄道が最後の運行日を迎えました。扇沢から黒部湖までを結ぶ無軌条電車、トロリーバスです。以前、2017年10月・ロバニュース189号でも紹介しましたが、改めてその話題を報告します。



無軌条電車（トロリーバス） 屋根のポールが誇らしげ

この路線は立山黒部アルペンルートの一部で、環境や急こう配などを考えて“トロバス”が採用されました。車両は、見た目は普通のバスですが、屋根に電車の様な集電装置（2本のポール）が付いており、道路上には2本の架線が張られています。2本あるのは鉄の線路がないので電気の帰線にしている訳です。通る所は普通の“道”に見えますが、そこは“鉄道敷”で、立ち入りはできません。標識、信号機は全て鉄道と同じものです。乗降場は“駅”。そこで働く人は“駅長”と“駅員”。鉄道記念日のイベントも行われます。かなり“変”な乗り物ではあります。

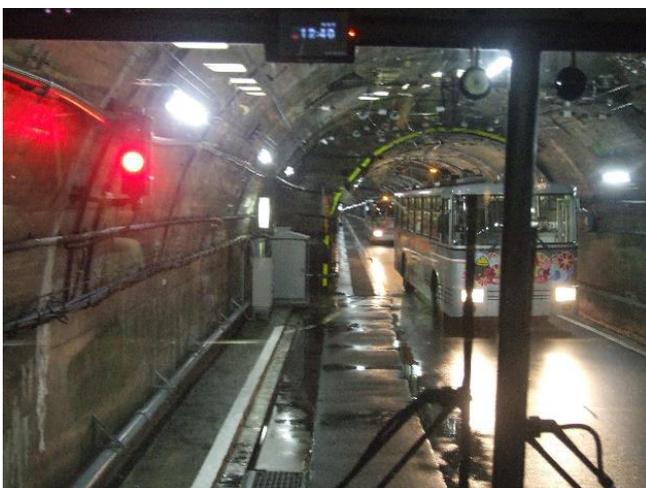


道路は線路？鉄道敷！



一応、鉄道なんですね～

さて乗車。「この“列車”は黒部湖行きで～す。」・ ・ 1編成の両数は、お客さんの数によって臨機応変に増減させます。やがて“出発信号”が青になり、トロバスは次々と発車して行きます。扇沢側は、しばらく地上を走りますが、後はずっとトンネル。景色を見ずに信号や架線設備ばかり注視しているバカは私ぐらいです(笑)。路線の中間ぐらいには、列車交換設備があります。乗り降りしないので“信号場”です。“場内信号”の青現示を確認して進入します。普通鉄道のように“下”に複雑な分岐器はありませんが、+-2本の架線が張ってある“上”は、かなり複雑です。何も考えずに配線するとショートするので、架線の分岐部分(フロック)には絶縁部分があり、トロバスは惰性で通過します。運転席の電圧計が一瞬“0”になります。また、ポールがバスの進む進路に行くように、普通鉄道のポイントと同じ様な仕組みになっています。黒部湖行きが先に入線し、扇沢行きの最後部車両から運行票を受け取り“出発信号”が青現示になってから発車して行きます。自動台数検知器と運行票とダブルで安全を確保しています。途中には100%の上り坂もありますが、アスファルトとゴムタイヤの鉄道なので難なく登って行きます。終点は折り返しではなく、ループ線になっています。1周すると架線の+-が変わるので、電圧計は0を中心に両側に目盛りがあり、針が逆方向に行きます。



赤の出発信号と対向列車



運行票でも安全確保



制動筒圧・速度・電流・元空気ダメ圧



24V 電圧・100V 電圧・架線電圧

黒部ダム観光の話は飛ばし、トロバスの裏話を・・・。運転席は普通のバスと変わりませんが、超なめらかなオートマ車。ブレーキは電気制動がメインで低速時に空気制動に切り替わり、慣れないと違和感があるそうです。屋根の集電装置である2本のポールですが、希に架線から外れる事があり、その場合は停車して運転士が付けに行くそう。結構恥ずかしいとの事。また、架線は+-が30cm位と接近しており、強風時の枯れ枝などの接触でショートしないかと心配しましたが、滅多にないとの事。それより猿が架線上を歩き、感電するんですよ、と。感電と言え出入口の扉が開くと共に車体から鉄球が下りてきます。これで車体を接地し、乗客の「ピリッ！」を防いでいるような。運転は“動力車操縦免許”と言う鉄道免許が必要で、分類は無軌条電車です。トロバスはあくまで鉄道車両なので、ナンバープレートも付いていません。車庫の中は複雑な架線でゴチャゴチャ？ と思ったら、営業の本線以外、架線は張られておらず、バッテリーで走行します。そしてこの路線、列車ダイヤ(列車運行図表)もちゃんとあります。実は時々工事用の“普通の自動車やトラック”も旅客列車の合間に走るそうで、ダイヤにも書き込んであります。安全上、信号所でのすりかえはなく、台数チェッカーでカウントし通しているそうです。



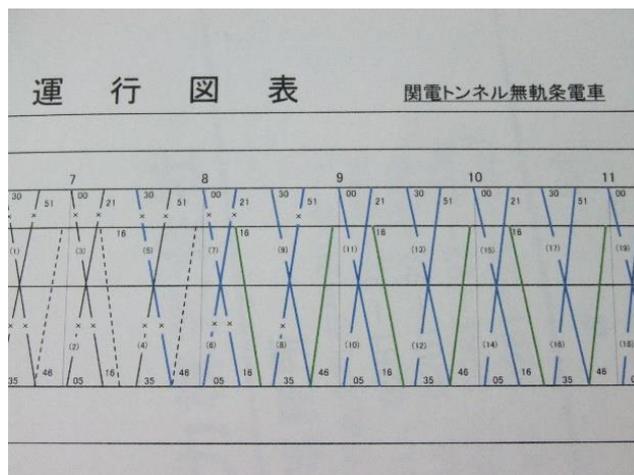
本線上でのポール上げ作業



ポールと架線



複雑な分岐部の架線と台数検知機



列車ダイヤ（青太字が旅客列車）

まあ、何から何まで“変”な乗り物ですが、来春からは蓄電池車に置き換えられます。その車両は集電装置のパンタグラフが付いており、停車時にパンタを上げ、部分的に作られた架線の様な給電設備から充電します。蓄電池の性能が向上したためにトロバスはお役御免となったのです。つまり普通の電気バスになったため鉄道ではなくなり、“鉄道事業の廃止”になった訳です。しかし来春からは、架線を撤去しただけで、保安装置、運行方法、乗り心地などなど、ほぼ何も変わらないと思いますよ・・・とは現場の方々の声でした。とにかく、開業から54年もの間、無事故だったそうで、トロバス君、職場の方々、本当にお疲れ様でした。



新しく導入される電気バス



トロバス運転席でご満悦！

(各所の立入および撮影は、許可済です)

千ビ鉄 どうとう現る…

私の甥が、電車やバスが好きなのは、薄々感じていました。今では、巷に大勢いるであろう「千ビ鉄くん」と同じような男児に育ちました。

我が甥は3歳とちょっと。春過ぎまでは電車もバスも乗る事が怖くて、外から眺めるだけで満足していたのです。ところが、車が大丈夫という事は、車より少しだけ大きいバスなら、何とか誤魔化せるかも…。と、婦人会バスツアーに連れて行ったところ、以外にもあっさりOK！（えー）

↑↑↑ 顔見知りのご婦人方が大勢いたからでしょうか？

これがキッカケなのか分かりませんが、今はえち鉄、福鉄を乗りこなす、乗り鉄&見るだけ鉄に変身してしまいました。

時間があれば電車に乗り、もっと時間があれば電車に乗った後に「田原町ミュージ」と「福鉄田原町駅 待合室」で永遠、電車を見つめています。田原町駅にはアイスクリームやジュースの自動販売機が設置されているし、グッズも販売しているし、おちびさんにとっては、まさにパラダイスな空間なのでしょうね。

この間はサンダーバードにも挑戦したみたいで、元日にはフクラムと映した写真が送られてきました。（まだまだ3歳児、鉄道かアンパンマン関連の写真がメイン）ぼちぼち、えち鉄サポーターズクラブの入会を勧めようと思っています。

そして、春になったら、新幹線に乗せてあげる約束をしています。



作/漆寄 耕次



編集後記 …… 編集委員より一言

内田（発行責任者）

「新年明けましておめでとうございます。長い正月休みが終わり、いざ仕事（1月7日）という時に風邪をひきましてしんどい思いをしています。「何がおめでたいのや!」と言いたいところですが、自分自身に原因がある事には間違いありません。」

林（変集長）

「現在、『もりたんバス』の4月ダイヤ改正で、3日に一度ぐらい会議を行っています。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>